

6年生「海の命」授業記録 1月24日（火）

第1場面で問題づくりの活動を行った。太一の強い思いが表れている叙述として、「ぼくは漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ。」という言葉に着目した。さらに「はばからなかった」という言葉にも着目させ、はばからないことは、太一がはばかるべき状況があったことを確認した上で「太一はなぜ、『ぼくは漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ。』とはばからなかったのか」という問題を設定し話し合いを行っていくことになった。

T 1	意見出していきましょう。
たくや	父親が海で死んでしまっているから、死んで漁師になるっていうのは、普通ならはばかるけど、父が死んでしまっているから…
T 2	父が死んでるっていうのは、この段階で父は死んでしまってるの？
CC	死んでない。
たくや	おれ死んでると思ってた。2の最初とかでさ、「もぐり漁師だった」って書いてあるから、「だった」ってことは過去形だし、最後のなんだっけ。1の最後、「結局ロープを切るしか方法はなかった」って過去形。だから、父は死んでしまっているのかなって。
T 3	お父さんが何かしら関係しているってことやね。お父さんに関わった意見ってある？
かずき	父の漁にあこがれがあった。
ゆいと	父もあるんだけど、お父さんといっしょに出る海が好きだった。2行目に「季節や時間の流れとともに、変わる海のどんな表情でも、太一は好きだった。」っていう「好きだった」って書いてあるから。でも、それだとおとうと一緒に海に出るっていうおとうは必要ないと思うから、おとうさんと一緒にでる海が好きだったから、一緒に出たら楽しいからもう1回行きたいんじゃないかなっていう意味だと思う。
T 4	おとうと出る海が好き。続けてどうでしょうか。
あゆむ	ぼくはおとうさんのことじゃないんだけど、①のところに書いてあったんだけど、「太一は季節や時間の流れとともに～好きだった。」って書いてあるから、太一は海が好きだったから、その思いが強すぎて、はばからずにいたんじゃないのかな。
T 5	ちょっとこことは違う。おとうというよりは、海が。ここ対立したね。おとう出る海が好きなのか。海が好きなのか。違いますね。
あつき	ふつうに③以降に読んでたらわかるけど、読まなかったら、たくちゃんと同じ過去形だと思うけど、おとうと海に出ようとしたってことは、それだけ意見を変える出来事があったってことだから、はばからなかったって過去形になっているんじゃないかなって。太一の意見が変わってってことなんじゃないかな。
T 6	太一の中で変化があったと。 今これだけ出てるけど、おとうの影響とかおとうへのあこがれとか、おとうと出る海が大好きだったからはばからないってところと、おとう関係なしに海が好きだったっていう意見が出てますけど、みんなどっちですか。

あつき	先生、両方。海が好きだけど、海が好きでおとうといっしょに出るのも好きだから。いっしょに海に出れるし、海が好きだし、おとうにあこがれいっしょに海に出れるから両方。						
しょうた	だからあれじゃない。「時間の流れとともに海のどんな表情でも～好きだった」って書いてあるし、おとうと海に出るんだっていうどっちの思いもあるから、それは両方なんじゃないかってこと。						
T 7	両方だって考える子もいる？ <支持確認> <table> <tr> <td>①おとうの影響</td><td>9 人</td></tr> <tr> <td>②海が好き</td><td>7 人</td></tr> <tr> <td>③両方</td><td>8 人</td></tr> </table>	①おとうの影響	9 人	②海が好き	7 人	③両方	8 人
①おとうの影響	9 人						
②海が好き	7 人						
③両方	8 人						
T 8	さっきも言ったように、はばからなかったってことは、ほんとうははばからないといけないんだよね。周囲を気にしたりとか遠慮したりとかしないといけない状況があるんだよね。これなにをはばかるべきことなの？ ーペアで考える時間ー						
T 9	では、何をはばかるべきことなのでしょう。						
りょうた	おとうといっしょに海に出ること。						
あつき	海に出ること						
ゆいと	どっちかわかんないんだけど、もぐり漁師。「だれにももぐれない瀬に」って書いてあるから、父にはもぐれるってことでしょ。父といっしょに海に出るってことは、そこにもぐるってことは、みんなできないのに、自分だけおれはやれるって…。ちょっと待って。						
あゆむ	りゅうたさんといっしょで、おとうと海に出ることで、なぜかという他のお母さんとか、いろんな人がいるじゃん。で、子どもで言ったらこの人たち心配するじゃん。4 場面、めっちゃ遠くなるんだけどさ、母は心配してたじゃん。それで、心配させないために普通なら言わないはずだけど、めっちゃ言ってるから、それをはばかるべきことなんじゃないかなって思う。						
かずき	父のような危ない漁をすること。 <意見を分類し支持確認> <table> <tr> <td>A：おとうといっしょに海に出ること</td><td>18 人</td></tr> <tr> <td>B：海に出ること</td><td>6 人</td></tr> </table>	A：おとうといっしょに海に出ること	18 人	B：海に出ること	6 人		
A：おとうといっしょに海に出ること	18 人						
B：海に出ること	6 人						
ゆいと	B に似てるというか「誰にももぐれない瀬に」って書いてあるよね。なのに、もぐるっ						

	て言っているんだけど。っていうことで、みんな無理だよっていつてるんだけど、おれはできるっていうB。
--	--

1月25日(水)

T1	では、AとBどちらでしょうか？
あつき	ぼくはAの立場で、海に出て漁をするっていうのは、はばかるなら進んじゃっているけど、2場面のときにやめてるんじゃないかな。2のときに与吉じいさの弟子にしてくれっていうのに、海にいかないんじゃないかな。漁師になるのをはばかるはずだから、父が亡くなった危険な海に出ていくのは危ないから、与吉じいさに弟子にしてくださいって言いにくいと思う。
たくや	ぼくが見たところは「ぼくは漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ。」のあとの、「子どもころから」ってところで、子どもころからはばかる状況があるってことは、過去にもっと昔からはばかるような理由があったってことだから、その昔って書いてあるのは、書いてないけど、②から⑤の父が死んでしまったっていう過去の事実をあとに述べているから、子どもころから父は死んでしまったことがわかるのかな。だから、ぼくはおとうといっしょに海に出るっていう。
ゆうこ	わたしはたくやさんにつけたしなんですけど、海の命の一番最初、219ページにイラストがあるんですけど、それ絶対おとうさんの絵だと思って、なんかどうして顔が書いてないのかなって思って、あいまいに書いてある感じだから、太一は小さいころにお父さんが死んじゃったってことを表しているんじゃないかなって思う。太一はお父さんの顔を覚えてないんじゃないかなって思う。だからAかな。
あおい	わたしはAだと思って、1場面の②の「潮の流れが速くて誰にももぐれない瀬にたった一人でもぐっては」って（聞き取れない）
あゆむ	ぼくもAで太一の父は誰にも行けない海に、危険な人だからそれについていくのはまじでだめ。死んだりしてほんとはそれははばかるべきなんだけど、それをばばからないでいたから、ぼくはAなんじゃないかなって思う。
ゆいと	2場面に入っちゃうんだけど、まず、おとうといっしょに海に出て漁をすることだったら、もうこの2場面の最初から父は死んでるんだから、ここでおとうといっしょに海に出てっていうことはつぶれてるんだから、でも子どもころからいっしょに海に出るんだって言うってことは、中学校くらいまで行ってるってことだから。で、中学校になってもお父さんはすでに死んでる。無理やり弟子になって海に出たいって言うてるから、海に出て漁をすることなんじゃないかなって思う。
みなと	ゆいとどっち？
ゆいと	B
たくや	反対でゆいとくんの理由からAだと思う。本来なら父が死んでしまっていて、死んじゃったのに、「おとうといっしょに海に出るんだ」って言うってことは、他の人からしたら、むなしいことになってしまう。ゆいとの意見からAかなって思う。
はるひ	これはぼくの捉え方の意見になるんだけど、太一が「ぼくは漁師になる。おとうといっ

	しよに海に出るんだ」っていうのは、たぶん主張は漁師になることだと思う。だから、はばからなかったっていうのは、主張に対するはばからないってことだから、太一…思考が止まっちゃった。
いくま	今度ぼくね。ぼくはね。「父はもぐり漁師だった」のあとの「潮の流れが速くて、誰にももぐれない瀬」って書いてあるから、海に出て漁をするだと、誰にも瀬が速くてもぐれない瀬だから、危ないわけよ。だから普通ははばかるべきなんじゃないかなって思う。
はるき	自分はBなんだけど、危ない瀬に自ら行くっていうのは危険。それでも行くから、遠慮はせずに、死ぬことがわかっていたら、遠慮はしないと思うし、誰にももぐれない瀬に入るような漁師になるなら、漁師になりたいなら遠慮はしない。おれの意見的には、「ぼくは漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ」のところの次に、おとうさんのセリフがないのが違和感っていうか、父いっしょに出たいなら、おとうさんが何か言ったっておかしくないと思う。「ああ、そうなんだ。じゃあいっしょに出よう。」みたいなことを言いだすかもしれないのに、「漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ」のところにはお父さんは一言も触れてないから、海に出ることだけに集中している。
あつき	ぼくはBで太一が一本づり漁師やもぐり漁師？もし父が死んだ瀬にもぐるとしたら、危険な海だから、海に出て漁をするのははばかられるんじゃないかな。
はるひ	ぼくは太一の主張は「ぼくは漁師になる」ってことだと思って、「おとうといっしょに海に出るんだ」ってところは、漁師になるていで、おとうといっしょに出れたらいいなっていう太一の願望だと思う。はばからないっていうのは、主張に対することを言っているんじゃないかなって思って、だからB。
たくや	「ぼくは漁師になる」っていうことと「おとうといっしょに海に出るんだ」ってことにわけたときに、「ぼくは漁師になる」っていう方が強いと思ったってこと？
T 2	ここの文章のこと言ってるのわかる？わかりやすく言ってくれたね。ここの青い線で囲ってあるところが2つの要素があるってことやんね。太一の中でどっちのことをすごいこだわって言っているか？「ぼくは漁師になるんだ」なのか。「おとうといっしょなんだ」なのか。これが今回の課題でしょ。
はるき	おれの的にはつなげてでもいいと思うよ。ぼくは漁師になって、おとうと一緒に海に出るんだ。きる意味ないと思う。きってないんだったら、漁師になっておとうといっしょに海に出るんだっていうなら、おとうといっしょに出たいんだってわかるけど、切ってるから。漁師になるが最初だから。
T 3	だから漁師になるっていうのが強いってことね。おれは絶対漁師になるんだって気持ちね。
はるき	漁師になって、おとうと並ぶくらいになればいいなって。
ゆいと	やまなしでなんか、「だ」だっけ？文では、ほんとに強く言っているみたいな、なんかあった気がする。おこってるみたいな文があったじゃん。それと同じかなって思って。一番下に「だ」って書いてあるじゃん。「おとうといっしょに海に出るんだ」ってあると思うけど、強く言っている感じにもとれるから、だから、そこを強調して、おとうと海に出ることだと思う。

たくや	ぼくははるひくんの言ってることもわからないでもないんだけど、「おとうといっしょに海に出る」ってことを、達成するために。目的がおとうと海に出ることで、その方法として選んでいるのが漁師になることなのかなって思ったから、おとうといっしょに海に出るために、漁師になるってふうかなって思って。
こうすけ	おれはBだと思って、おとうと海に出て漁をするっていうのを遠慮する理由があるんだと思うからBなのかな。単純だけど、おとうと海に出て漁をするっていうのをどうしてはばかっているのかっていう。Bだったら瀬の流れが速くて危ないっていうのがあるけど、Aとかだとおとうと海に出て漁をするっていう理由がないと思う。
あゆむ	ぼくはAで、Bって海に出て漁をするってことじゃん。いろんなやつあるじゃん。もぐり漁師だけじゃないじゃん。父と出るなら危険なところにおくりこまれるから。Bだどこでもいけるじゃん。つりでもいけるし、もぐりでも。けど、Aは確定でもおとうさんと出たいなら、もぐり漁師なんだから、絶対もぐり漁師になるから、だから危ないからおとうさんといっしょをはばかるべきなんじゃないかなってぼくは思う。
しょうた	ふつうに「ぼくは漁師になる」ってだれか言ってたけど、「だ」って強調してあるし、強調された部分におとうって書いてあるから、「ぼくは漁師になる～海に出るんだ」って強調されているから、おとうと海に出て漁をするっていうのが。
T 4	こうすけさんが遠慮する理由がないって言ってたよね。遠慮しなきゃいけない状況ってわかりますか。周囲のことを気にしなきゃいけない状況ってどういう状況？
はるき	葬式とかスーパーとか人がまわりにいっぱいいるから、今はしゃべってはいけない。沈黙を保つみたいなの。そういう夢を語る場所じゃない。
T 5	言ったらだめなことを言ってるってことやんな。それをこの状況にあてはめるとどう？太一が周囲を気にして遠慮しなければいけないのはどういう状況なの？
あつき	父が亡くなっている状態。父が亡くなっているのに、ずっとおとうと出る出るって言うていたら、むなしいって思われるから、そのことは遠慮した方がいいんじゃないかな。
T 6	じゃあ父がここで死んでなかったらいいの？子どものころからってことは父が生きている段階でもずっとそうやって言ってるけど、はばからない状況でしょ。
たくや	子どものころからはばかる理由があったってことは、ぼくAの立場で父といっしょに行くってことは、もぐり漁師として危険な漁に行くってことで、4に書いてあるんだけど、「父を最後にもぐり漁師がいなくなった」ってことは父以外もぐり漁師がいなかったってことだから、一歩危険なところに行くっていうのはおかしいと思って。だから子どものころからはばかる理由があったってことだから、そのはばかる理由が、父が死んでしまっ、危険なところに行くってことにはばかるべきなのかなって思う。子どものころから父はすでに死んでいる。
あつき	たくちゃんの意見に対してなんだけど、ぼくはたくちゃんのもぐり漁師に行くってことだから、ぼくは漁師になるじゃなくて、ぼくはもぐり漁師になるって本来言うんじゃないかなって。本来なら「ぼくはもぐり漁師になる。～海に出るんだ。」だけど、「漁師」だから、おとうがもぐって、与吉じいさの弟子になるときみたいに、おとうがとった獲物をなんかやるかもしれないし、つりをするかもしれないから。

T 7	何でもいいんだと。一本釣りでも、もぐり漁師でも漁ができれば何でもいいんだと。
あつき	だって、漁師になるって言ってるから。
たくや	ぼくはあつきくんに反論なんだけど、一本づりでもいいっていうけど、一本づりは危なくないし、危なくないんだけど、「父を最後にもぐり漁師がいなくなった」ってことは、どこにもいないってことだから、それをやろうと思う人が少ないってことだから、だからあみとかでやる人は偏見だけど多いのかなって思うし、危ない仕事は比較的人数は少ないから、どっちでもいいっていう考えは違うのかな。
はるき	なんで危ないにこだわるのか？
あつき	おとうのところがあぶないんだよ。おとうのところが。
かのん	いくところがあぶないんじゃないの。
T 8	なにがあぶないの？
かのん	たいちのおとうさんがもぐりにいったところ。
T 9	それ書いてあるでしょ。
かのん	潮の流れが速いところ。おとうさんがもぐり漁師ってことは、いっしょにもぐって漁をしないとイケないから、そんな危ないところならAなのかなって。
T 1 0	太一は一本釣り漁師になるとか、地引網の漁師のなるとか、なんでもいいわけ？
はるき	何でもよくなかったら言うはず。ぼくは一本づり漁師になるんだとか、こだわりがあると思う。
T 1 1	太一は何の漁師でもいいわけ？
しょうた	いやいや、太一はおとうといっしょに出るんだって言ってるから、なんでおとうといっしょに海に出るんだって言ってるのに、一人だけ一本釣りやってんだってなるから、もぐり漁師じゃないの？
こうすけ	そういうことか。
かのん	Bだった場合、海に出て漁をするためなら、漁師になる意味はなくなるから。お父さんといっしょに海に出たいっていうなら、もぐり漁師にならないと意味がないから、Bはないんじゃないのかなって。
T 1 2	何の漁師になってもいいわけではないよね。つまりAかBかどっち？
C C	A